



## 各学校 校内研修のまとめ

余寒の候、地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日ごろより長瀬町教育行政及び各学校における教育活動の推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、教員は、子供たちの成長に直接的に関わり、その人格形成に大きな影響を及ぼすものですから、その職責を遂行するために研修は必要です。

そのことは、法律にも規定されています。

個人で行う研修が大事なのは言うまでもありませんが、それぞれの学校が抱える課題を取り上げ、校長を中心とした学校運営の中で組織的に行う研修が、学校全体の教育力の向上に大きく貢献します。

今回は、各学校の校内研修について今年度の取組の様子を紹介します。

### 長瀬町立長瀬第一小学校の取組

#### 「ICTを活用した授業改善」 ～ICT機器の活用による授業の工夫や教材提示、教材作成～

本校では今年度、上記の研究テーマに沿い、全教職員で研究を進めてきた。研究テーマにせまるために、①様々な場面でのICTの積極的な活用方法や場面ごとの実践・共有、②学習指導における適切・効果的な活用方法について、仮説を立て教職員の指導力向上に努めた。

主な取組として、①プロジェクトチーム（I、C、T各チーム）による模擬授業、②教職員による授業研究（2学期 道徳 3学期 音楽）の実施を計画した。今現在、取組を通して教職員のスキルアップとともに、児童の学習意欲が高まり、学習規律が定着してきた。引き続き、授業において効果的な活用方法や活用場面を検証し、児童の学力向上へ結び付けていきたい。他にも朝会や児童集会、長瀬第二小学校との交流など、授業に加えて学校行事等にもICTを使用する場面が増え、活用の幅が広がりつつある。



## 長瀬町立長瀬第二小学校の取組

令和4年度 研究主題

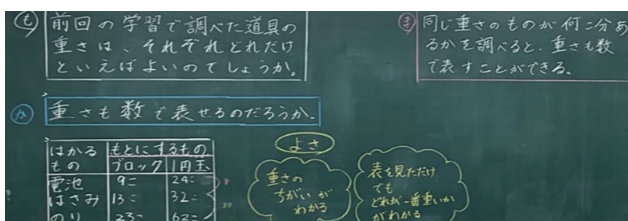
「算数のよさを味わえる授業づくり」

～指導法の工夫改善を通して～

児童が算数の授業で「わかった」「できた」を実感すること、また、算数のよさを味わうことによって、意欲的に算数を学ぶことができるようになると考え、算数の指導法の工夫改善について、校内研修に取り組んだ。

### ◎研修内容

- 算数の授業の流れ
- 板書の流れ
- 研究授業
- 児童用デジタルコンテンツ
- 教材研究
- 算数のよさ



### ◎成果と課題

- 算数の授業について職員が話し合い、学校全体で授業改善を進めることができた。
- タブレットの効果的な活用方法を、共有することができた。
- △算数を日常生活で生かせるようになる授業、また、児童が算数のよさを味わうことができる授業を追求していきたい。
- △授業内の時間配分について考え、よりよい流れとなるよう検討していきたい。

## 長瀬町立長瀬中学校の取組

本年度は、「埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」からの研究委嘱を受け、「ふるさと教育を基盤にした生きる力を育む食育の推進」をテーマに研究を進めた。以下、その取組と成果を記す。

### 1 研究の重点

- (1) 栄養教諭の効果的な活用 (2) 健康的な生活習慣の確立 (3) 主体的・協働的な学びの推進

### 2 おもな取組

#### (1) 栄養教諭の授業参画

- ①家庭科の「調理実習」 ②保健体育の「食生活と健康」 ③学級活動の「自分で作るお弁当の日」

#### (2) 「未来につなげよう！よりよい生活習慣チェックシート」の活用

#### (3) 家庭・地域と連携した栄養教諭の取組

- ①「自分で作るお弁当の日」 ②地産地消の学校給食の提供 ③食育だよりの発行

### 3 研究の成果 (○) と今後の課題 (●)

○調理実習において、技能指導が充実し、栄養面についての生徒の興味や関心、理解が深まった。

○毎日朝食を食べる生徒、毎朝排便する生徒、朝晩歯磨きをする生徒の割合が増えた。

○自分で作るお弁当の日について、家族への感謝や食に対する関心・感謝の気持ちが深まった。

●研究成果や調査結果を保健だよりや食育だよりを通して、家庭に配布し、学校と家庭・地域が相互に連携し合いながら、生徒の未来につながる「自立・自律する力」を高められるようにする。

●長瀬町学校給食センターとの連携を密にして、今後も地産地消、SDGsの取組を一層推進する。